

被害防除

陸上自衛隊王城寺原演習場沿いの対策

- ・ 演習場の境界は防除ラインであり、自衛隊と協力体制を構築し、連携した対策を実施している。
- ・ 令和4年度から自衛隊の敷地に、ワイヤーメッシュ柵の設置を検討している。



イノシシが演習場外に出ないように自衛隊が補修



自衛隊による刈払作業

被害防除

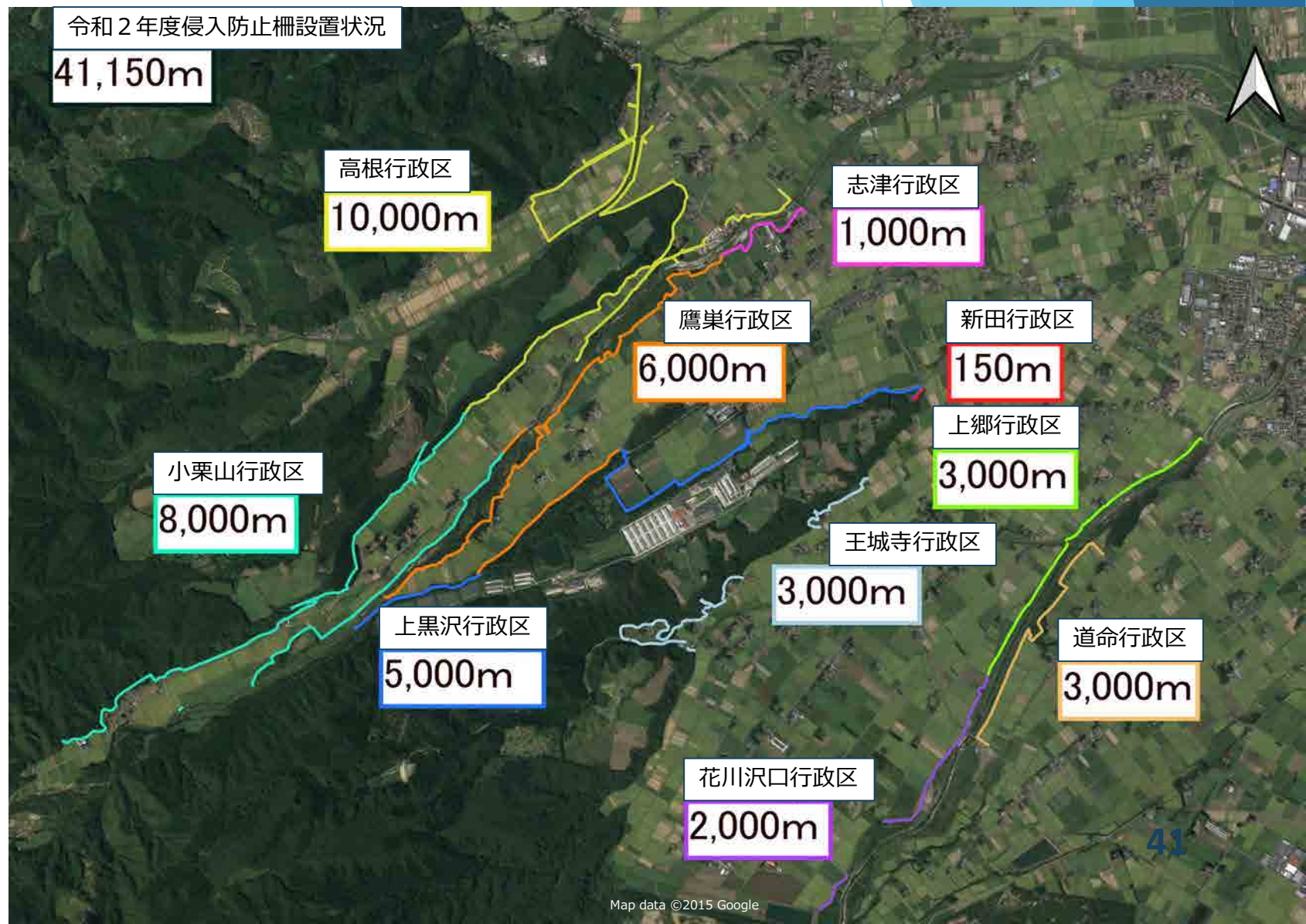
隣接市町村との連携

- ・ 構想図（案）を共有することで、市町村を越えた対策が可能になる。
- ・ 令和4年度に鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して、ワイヤーメッシュ柵を導入する予定である。



被害防除

地域住民と検討を重ねた結果、令和2年度に約41kmのワイヤーメッシュ柵を設置することができた。



3 鳥獣被害対策の取組み

環境整備

構想図（案）を共有（見える化）したことで、客観的に対策が必要な場所がわかるようになり、自主的な環境整備が進みやすくなる。



3 鳥獣被害対策の取組み

捕獲

技術

- ・ ツキノワグマや鳥を撃つ銃猟は盛んだった。
- ・ イノシシを捕獲するには、わな（箱わな、囲いわな、くくりわな）の技術が必要であるため、安全面も考慮した研修会を開催した。

場所

- ・ これまでは、被害があった場所にわなを設置することしかできなかったが、構想図（案）をもとに、移動経路などをふまえ、効率的に設置することができるようになった。

体制

- ・ 狩猟免許取得等助成金を創設したことにより、隊員を確保することができるようになった。
5名（平成23年度）⇒18名（令和3年度）
- ・ IOTの実証実験を行った。



狩猟免許取得等助成金

町では、平成29年度から助成制度を新設し、令和3年4月1日から新規第一種銃猟免許取得者に対し、銃猟（保管庫を含む）を購入される方にも支援できるように、助成制度の拡大をしている。

対象者

- ・町内に住所を有している方
- ・町税等を滞納していない方
- ・過去に狩猟免許等の取り消しを受けたことがない方
- ・狩猟免許等の取得後は、鳥獣被害対策実施隊に入隊し、有害鳥獣の捕獲活動に従事することができる方

※更新は、実施隊に入隊している方に限る。

○助成金の額等

種別	区分	助成金額等
わな猟免許	新規取得者	16,000円
	更新者	6,000円
第一種銃猟免許	新規取得者	80,000円
	更新者	18,000円
銃猟(保管庫含む) 購入	新規取得者 (1丁に限る)	該当経費の2分の1以内の額(1,000円未満切捨て)とし、200,000円を限度とする。 例) 500,000円分購入⇒200,000円助成 400,000円分購入⇒200,000円助成 300,000円分購入⇒150,000円助成

IOTの活用 害獣捕獲監視システム「マタギっ娘」

マクセルフロンティア株式会社と連携し、
実証実験を行った。

目的：鳥獣被害対策実施隊（猟友会）の
わな設置に伴う見回りの省力化を
図ることを目的とした。

期間：令和2年10月 7日から
令和2年12月22日まで

実証実験の活動状況



令和2年

- 8月26日：打診がある**
- 8月28日：実施隊の会議で決定**
- 8月31日：スケジュール確認**
- 9月4日：子機設置場所選定**
- 9月25日：基地局等設置場所決定**
- 10月7日：基地局等設置**
- 10月15日：実施隊による子機設置開始**
- 12月22日：基地局等撤去**

3 鳥獣被害対策の取組み

基地局の設置

場所：色麻町役場庁舎屋上

面積：0.5m²

設置：マクセルフロンティア
株式会社



子機の設置

場所：色麻町内全域

設置：実施隊

種類：くくりわな、
箱わな



3 鳥獣被害対策の取組み

実証実験を行った場所

